

地方創生推進交付金を活用した事業の実績及び評価

※KPI…Key Performance Indicatorの略。政策ごとの達成すべき成果目標として設定するもの

事業名	事業の背景	事業の概要	事業効果	KPI※	目標値 (計画期間累計)	平成29年度			平成30年度			令和元年度									
						単年度目標	実績	事業費(円)	単年度目標	実績	事業費(円)	単年度目標	実績	事業費(円)							
美里の未来を見つけます事業 (三み一体事業)	津市は、平成18年1月1日に10市町村が合併を行っているが、合併した旧市町村の一つである旧美里村を範囲とする美里地域は、江戸時代、伊賀街道の重要な宿場として栄えてきた歴史があり、今もなお数多くの歴史的資産が存在する。また、当該地域は、標高819メートルの経ヶ峰のふもとにある中山間地で、清流長野川が走る、豊かな自然が残る地域である。そしてそのような環境で育んできた、人と人との繋がりが強いコミュニティがいくつか形成されている。  しかしながら、地域の人口は、平成28年12月現在で約3,600人となり、平成18年以後約10年間で約13%減少しており、児童数も10%減少し、高齢化率は37%を超えている。これに伴い地域住民の生活を支える機能が失われつつあり、地域における雇用の創出・拡大も難しく、利用者数の減少による公共交通の減便や空き家の増加に加え、これまで維持されてきた地域コミュニティの衰退が危惧されている。このようななか、現状打破に向けた具体的な取組を進めたいとの意欲が高まっており、地域が主体となった具体的な事業展開の支援が、まさに求められている状況である。  このことから、地域が有する資源を生かしながら、地域のコミュニティが将来にわたって継承され、こどもから大人まで地域一丸となって地域づくりに取り組み、地域の人々がいきいきと暮らし、観光客などの交流人口の増加により賑わいがある姿を目指す。	<p>平成29年度から地域内3小学校と1中学校を統合する義務教育学校「みさとの丘学園」を開校し新たな教育実践に取り組むこととしているが、閉校する3小学校区では、それぞれ人と人の繋がりが強く、地域の未来に向けた取組を進めたいという意欲を持つコミュニティが形成されている。</p> <p>そこで、閉校となる各小学校を活用し、それぞれの地域の特色に応じたマルシェや収穫祭、定期的なスポーツ大会などのイベントの開催を土台として、人口減少にあっても衰退しないさらに強い地域コミュニティと地域の拠点を形成するとともに、地域の食材の活用、販路や交流人口の拡大を図る。</p>	<p>◆令和元年度については、悪天候の影響等により単年度目標値を下回る結果となったものの、各地区それぞれの特色を活かしたイベント等の開催を通じ賑わいの創出、地域コミュニティの強化、地域外からの交流人口の拡大を図ることができた。</p> <p>&lt;主な事業に係る各地区の参加者数&gt;                      長野…学校BBQ 約50人                      高宮…ふるさとフェスタ 約600人                      モーニングカフェ「朝ごはんや」(毎月1回 80名)                      辰水…たつみずフェスタ 約600人                      ほろ酔いジャズコンサート 約300人                      放課後子ども教室(毎月1回 20名)                      たつの和カフェさくら(毎月1回 100名)</p> <p>◆各協議会において、旧小学校施設を活用した活動の幅を広げ、これらの取組を通じて、協議会の活動に協賛いただける個人・団体の輪を拡大することができ、持続可能な事業展開に向けた協議会組織の強化に繋げることができた。</p> <p>◆「みさつと」が中心となり、各協議会の活動における交流や情報交換を行うなかで、イベント時のスタッフ応援など、地区を越えた協力体制を構築することができた。</p> <p>◆旧小学校施設の利活用については、行政が施設管理を行い、施設の運用や具体的な事業実施を協議会が担うことで協議会の負担軽減を図るとともに、活動の幅を広げ、自由度を高めるため、行政からの要請は最小限にとどめることで、各地区の特色を活かした独自性のあるイベントの開催に繋げることができた。</p> <p>◆活動の継続に必要な不可欠な自己資金の確保に向けては、令和2年度からの完全な自主運営の実現には至らないものの、イベント等から一定程度、収益を上げることができ、自主運営による持続可能な活動の実現に向けた一定の成果を得ることができた。</p>	各小学校区で地域づくりに携わる地域の方々の人数の総計:260	260人	40人増加	40人 (達成)	100人増加 ※累計140人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】140人	100人増加 ※累計240人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】240人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000	100人増加 ※累計200人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】4,900人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000	100人増加 ※累計300人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】5,000人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000			
				<p>◆人口減少にあっても衰退しない地域コミュニティと拠点の形成</p> <p>◆地域の食材の活用、販路や交流人口の拡大</p>	各小学校区での取り組みを通じて創出する地域外からの集客数:360人 ※計画期間(5年)合計	360人	100人増加	4,800人 (達成)	100人増加 ※累計200人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】4,900人	100人増加 ※累計300人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】5,000人	100人増加 ※累計300人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】5,000人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000	100人増加 ※累計200人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】4,900人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000	100人増加 ※累計300人増加	100人 (達成) 【KPI増加分の累計(実績)】5,000人	(総事業費) 1,500,000 (うち交付金 充当経費) 735,000
				<p>マルシェ 収穫祭 スポーツ大会 など</p> <p>閉校する3小学校の活用</p> <p>みさつと</p> <p>長野地域まちおこし 高岡ふるさと 辰水元気US 津市</p>	イベントにおける年間集客数:1,100人 ※計画期間(5年)合計	11000人	600人増加	11,350人 (達成)	300人増加 ※累計900人増加	増加せず (未達成) 【KPI増加分の累計(実績)】11,350人	100人増加 ※累計1,000人増加	増加せず (未達成) 【KPI増加分の累計(実績)】11,350人	100人増加 ※累計1,000人増加	増加せず (未達成) 【KPI増加分の累計(実績)】11,350人							

委員からの意見	評価と今後の取組の方向性(検証結果)
<p>・労働力が足りないという部分については、地域のためになることがしたいと考えている元気な高齢者や他の地域からのボランティアという方法も考えられるため、そういった形でそれほど人件費をかけず、労働力を確保する方法を検討してはどうか。また、利益が出る体制が整えば、若い人にもアピールができると考えられる。その上で、なお労働力が不足するようであれば機械化という方法も検討してはどうか。</p> <p>・特産品の掘り起こし、ブランド化は重要であり、見せ方や出荷方法も含め、他にはない、ここでしか買えないといった他とは違うアイデアで差別化していくことが不可欠。作付面積が少ないのであれば、期間限定で提供し、その貴重性を生かすなどの方法も考えられる。</p>	<p>3つのKPIのうち、「各小学校区で地域づくりに携わる地域の方々の人数の総計」及び「各小学校区での取り組みを通じて創出する地域外からの集客数」の2つで目標値を達成した。残る1つの「イベントにおける年間集客数」については、初年度において大きく目標値を上回る結果となり、そのため、以降の2カ年において単年度目標を達成することができなかったもので、集客数自体は十分に確保することができ、交流人口の拡大を図ることができた。持続可能な活動に向けては、財源の面で課題はあるものの、「みさつと」や「各地区協議会」という確かな運営体制を構築できたことに加え、イベント等での収益による自主運営の方向性を見出すことができた。</p> <p>また、地域の多様な年齢層の方々が協力し合い、地域の特色を活かしながら様々な活動を行うなかで、これまで以上に地域コミュニティの充実・強化を図ることができた。</p> <p>今後は、継続した人材の確保・育成はもとより、多様な媒体を通じた魅力的な情報発信に努め、特産品のブランド化や各イベント等の収益性の向上など、地域の高いモチベーションを維持しながら、自主運営による持続可能な活動の実現に向けた取組を進めて行く。</p>